

2007年9月20日  
日立ソフト

## 日立ソフトの集中型 Java コード診断ツール 「anyWarp CodeDirector」が JDK5.0 と Subversion に対応

日立ソフト（本社：東京都品川区、執行役社長：小野 功）は、Java 開発におけるコーディングルール違反をプロジェクト全体で組織的にチェックできる集中型 Java コード診断（インスペクション）ツール「anyWarp CodeDirector（エニーワープ・コードディレクター）V5.0」を 2007 年 9 月 25 日より発売致します。V5.0 では、普及が進む Java 開発用キット「JDK5.0」およびオープンソースの次世代構成管理ツール「Subversion」への対応を行い、コードインスペクションの適用範囲を拡大しました。

大規模ソフトウェアの品質、保守性、生産性を維持するためには、プロジェクトで定めた標準化規約（ルール）に従った実装（コーディング）を行い、均質で可読性の高いソースプログラムを開発することが必要となります。開発者固有の癖やムラをなくし、ソースコードの均質性を高めるためには、ルールの逸脱を開発者に早期にフィードバックし、工程中も繰り返しチェックを行うことが有効です。しかし、通常コード診断は人手によるレビューによって行われるため、レビューアーや担当者に工数面で負担となり、また見落としも多くなる状況でした。

このような状況を打破するために、「anyWarp CodeDirector」は、開発者に対して Java 統合開発環境「Eclipse」上で隨時チェックできる仕組みを提供し、またプロジェクトマネージャに対して Web サーバ上からレポートとしてチェック結果を確認できる仕組みを提供しています。さらに、開発部隊が繰り返し使うことができるよう、日立ソフトが手掛けた数多くの開発プロジェクトでの経験に基づき、診断の準備、診断、結果の確認を省力化するための工夫を加えています。

また「anyWarp CodeDirector」は、構成管理ツールと連携して自動でソースコードを取り出しチェックを実施します。またチェック結果レポートは Web で公開され、規約違反の状況、推移、集中箇所などを開発者、リーダ、プロジェクトマネージャ、品質管理部門等で共有、比較することができます。これらにより、プロジェクトマネージャは開発者に負担をかけずに、品質改善状況と推移を日々客観的に管理することができます。同時に開発担当者も Java の標準的なコーディングスタイルを学習できるため、スキルアップ、品質の向上を期待できます。

### <「anyWarp CodeDirector V5.0」の主な機能強化>

#### (1) JDK5.0 への対応

本製品では JDK5.0 のソースを診断してレポートの出力を行います。JDK5.0 に新たに追加された言語仕様であるジェネリクス・アノテーション等を使ったソースも診断できます。また JDK5.0 用として、診断のための新規 10 ルールを追加しました。

---

© 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号（日立ソフトタワーA）  
TEL. (03) 5780-2111 (大代)

ホームページ <http://hitachisoft.jp/>

## ( 2 ) Subversion への対応

本製品では従来から対応していた構成管理ツール「CVS」「VSS」に加え、近年主流となっているオープンソースの次世代構成管理ツール「Subversion」に対応しました。これにより、「Subversion」のリポジトリからソースをチェックアウトして、診断することが可能になりました。

<出荷開始時期> 2007年9月25日

<「anyWarp CodeDirector」製品価格>

製品名	製品内容	標準価格(税別)
anyWarp CodeDirector 10 ユーザ版( * )	ライセンス	1,000,000 円
anyWarp CodeDirector 30 ユーザ版( * )	ライセンス	2,600,000 円
anyWarp CodeDirector 50 ユーザ版( * )	ライセンス	4,000,000 円
anyWarp CodeDirector 100 ユーザ版( * )	ライセンス	6,000,000 円
anyWarp CodeDirector サイトライセンス版( * )	ライセンス	30,000,000 円
anyWarp CodeDirector メディアキット	CD	5,000 円

( \* ) ユーザ数は、本製品のレポート出力を参照するユーザおよび Eclipse プラグインを使用するユーザを意味しています。例えば 10 ユーザ版の場合、10 人のユーザがレポート参照および Eclipse プラグインを使用することができます。レポート参照を行うユーザと Eclipse プラグインを使用するユーザは別でもかまいません。

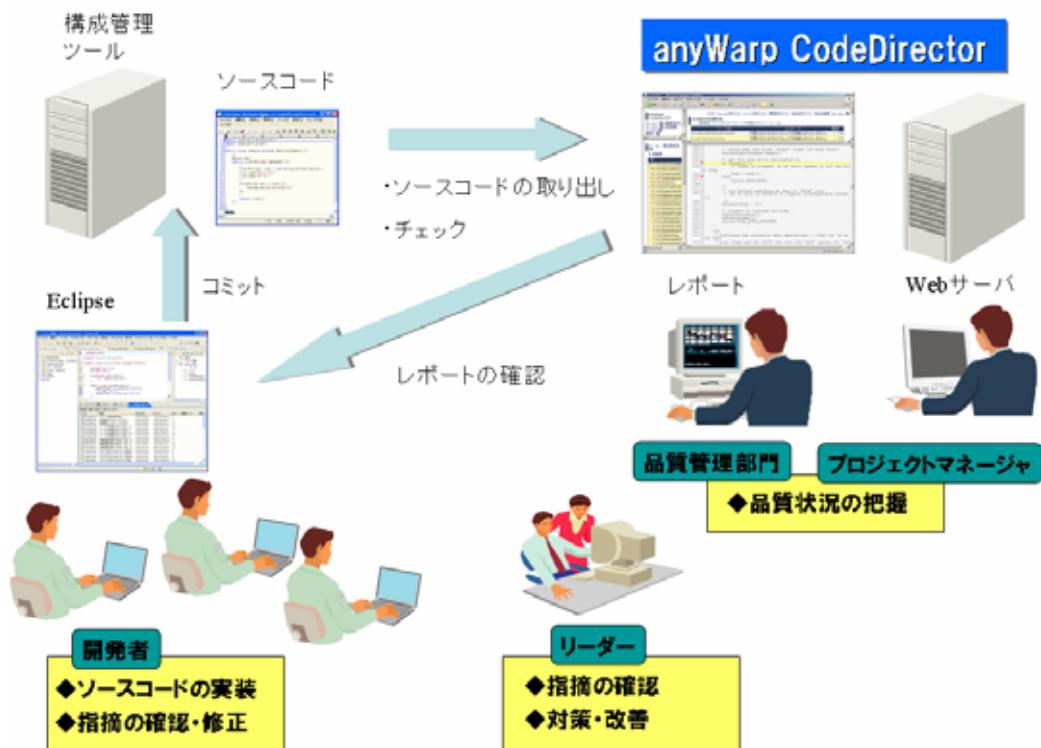


図1 . anyWarp CodeDirector の活用イメージ

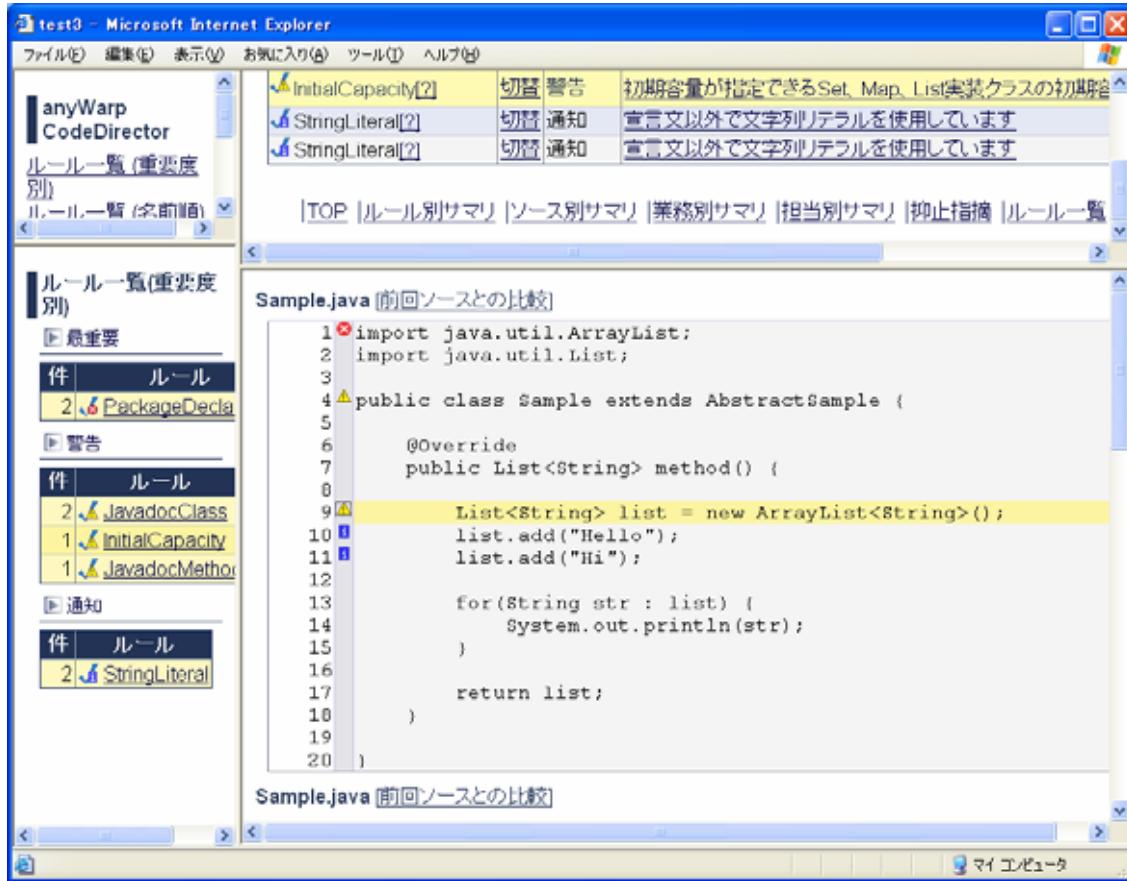


図2 JDK5.0 対応のコーディング診断画面例

< anyWarp CodeDirector 紹介 URL >

<http://hitachisoft.jp/anywarp/codedirector/index.html>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

担当部署 : @Sales24

Tel: 03-5479-8831 ホームページ: <http://sales24.hitachisoft.jp/>

< 報道機関のお問い合わせ先 >

日立ソフト CSR 本部 広報 IR 部 担当 : 竹橋、高野

Tel: 03-5780-6450 Fax: 03-5780-6455 Email: [press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)

- \* Java および全ての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- \* anyWarp, CodeDirector は日立ソフトの登録商標です。
- \* その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- \* 日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。